教材開発責任者の想い

予備試験の合格に必要な力は何か？
どのような知識を学習すべきなのか？を原点に戻って再考。
LEC専任講師を主軸に、直近の予備試験・司法試験合格者と1年以上議論を重ね、
0からカリキュラム・教材を作り上げ
延べ2,000時間以上時間をかけて完成に至りました。

皆様が望む未来のために、私たちの2,000時間の結晶
［コア重点学習］です。

私たちは今回、知識を効率よく獲得できる教材を制作することを重視しました。

予備試験・司法試験は膨大な量の知識を必要とする試験です。早期合格を達成するためには知識を効率よく、つまり、必要十分な知識を、試験で実際に発揮できる形で、かつ時間をかけずに獲得することが必要です。新講座では、入門講座の時期から一貫して「コアノート」を中心とした、インプット・アウトプットの勉強サイクルを構築できるように教材を開発しました。

［復習用教材コアノート］

コアノートとは、予備試験・司法試験に受かるために必要な情報をまとめた復習用教材です。論文を書く上で必要な定義・論証に加え、その定義・論証を導くための背景知識や、制度の根本理解を助けるための情報等、合格に必要かつ十分な知識が一問一答形式で掲載されており、**講座開始から試験本番まで使うことができます**。

［コアテスト］

このコアノートに記載されている知識を、**「発揮できる形で」獲得するための教材が「コアテスト」です**。

コアノートに記載されている知識は、丸覚えが必要な知識だけではありませんし、丸覚えをしても使えるとは限りません。背景知識や制度の理解を助けるための情報は、**覚えるのではなく理解することが重要**です。論文試験で記述が必要となる定義・論証も、キーワードだけを覚えることで対応できることもあります。また、知識を覚えていたところで、それをどのように答案で表現するかが分からなければ、試験で役に立つとはいえません。**早期合格を果たすためには、それぞれの知識を、問題を解く上で「発揮できる形」で獲得していく必要があります**。

「コアテスト」では、①短答の過去問（肢ごと）、②定義・論証の穴埋め問題、③簡単な事例問題の参考答案を穴埋めする問題の3種を扱っています。各問題は、**コアノートを参照すれば確実に解けるようにできており、復習時にはコアノートの参照番号が分かるように制作しました**。①では、実際の短答の過去問を解き、関連するコアノートの記載を確認して復習することで、コアノートの知識がどのように短答問題を解くのに役立つかを確認します。②では、論文に向けて定義・論証の特に重要なワードを穴埋めし、徐々に記憶することで、定義・論証を展開するに当たり必要な最低限のキーワードを覚えていくことができます。そして、③では、②で用いた論証を使ってどのように論文の答案を構成していくのかを、穴埋めをしながら学びます。穴埋めで答案を作成することによって、コアノートの知識をどのように記憶すべきかを知るとともに、論文答案の構成を知り、スムーズに論文演習に入ることが可能となります。

このように、実際の問題とコアノートの記載を結びつけることによって、コアノートの何をどこまで、どのように覚えれば問題が解けるようになるかを学ぶことができ、これにより「発揮できる形」で知識の記憶ができるようになります。また同時に、アウトプットの練習をすることで、知識の定着を促すこともできます。

論文学習

ここまで来たら、実際に論文を書く練習を始めます。論文の演習にあたっては、多くの方が、知識をどのように答案上で表現してよいのか分からないと悩まれます。新講座では、**コアテストで基本的な書き方を既にマスターしている状態のため、スムーズに演習に入ることができます**。それに加え新講座の参考答案では、各論述が、コアノートの記載から構成される法律論なのか、問題文の事情なのか、事情の評価なのか、という点が分かるように**色分け等がなされています**。この参考答案を見れば、ある論述が書けなかったとき、コアノートの知識を応用することができなかったのか、事情が拾えなかったのか、評価の論述ができていなかったのかがすぐ分かり、論文スキルの向上に役立てることができます。また、**定義や規範が書けなかった場合には、参考答案に記載されているコアノートの項目番号を確認して、コアノートで復習をすることができます**。

最後に

このように新講座は、入門講座の受講後、コアノートで復習を行い、コアテストでアウトプットを行い、またコアノートで復習を行い、論文の演習を行い、再度コアノートで復習を行うという、コアノートを中心としたサイクルで構成されています。教材はコアノートの項目に紐づけられており、時間をかけずに復習することができます。

膨大な知識が必要だからこそ、必要な分だけを、短時間で発揮できるように提供する。それが私たち制作チームの目指したところです。これらの教材が、皆様の望んだ未来をつかむために少しでもお役に立てば、何よりうれしく思います。

LEC東京リーガルマインド　www.lec-jp.com
お電話での申込・講座に関するお問い合わせ ▶ LECコールセンター 0570-064-464（平日9:30～20:00／土・祝10:00～19:00／日10:00～18:00）※通話料はお客様ご負担となります
著作権者　株式会社東京リーガルマインド　©2023 TOKYO LEGAL MIND K.K., Printed in Japan　無断複製・無断転載を禁じます。
0 001222 230244
LV23024